

# 金のピアスにもご用心

## 溶け出す物質も皮膚障害起こす可能性

イヤリングやピアスなどの装飾品によって起きた皮膚障害を調べたところ、安定した物質とされる金でも障害が起きていたことが、厚生省がまとめた一九九三年度の家庭用品健康被害報告で明らかになった。

報告書は、全国六カ所のモニター病院の事例を基に毎年まとめている。皮膚障害の報告件数は百七十一件で、前年度に比べて八十四件減少。製品別では、装飾品が四十六件で、二年ぶりに一位になった。以下、前年度一位の洗剤、ゴム・ビニール手袋の順だった。

各病院が装飾品の皮膚障害の原因を調べたところ、三十六件は使われていた金属が原因になっていた。残りの十件は不明。

さらに、この三十六件のうち二十件については、バ

ピアスの金属が原因で皮膚障害を起こすことがある



ツチテストをして金属の特定を行った。その結果、原因金属ではニッケルが九件、バルト(各四件)だった。

金が原因になった事例の多くはピアスだった。同省は「ピアスは耳などに穴を開けてつけるため、金のように溶けにくい物質でもアレルギーを起しやすい。

汗によって金属が溶けるためと考えられるので、運動

